

自民党参議院議員の宮本周司氏と、能登の震災支援や国と地域の連携について語りました。

対談 小森たくお × 宮本しゅうじ

「対談 共に歩む能登：支援と連携を振り返る」

小森：今回の対談は、参議院議員の宮本周司さんです。令和6年を振り返りつつ、お話を伺います。宮本さん、よろしくお願いいたします。

宮本：よろしくお願いいたします。

小森：令和6年はやはり元日に発生した能登半島地震が、石川県選出の国会議員である我々にとって大変大きな出来事でした。当時のことをお聞かせください。

宮本：私は自民党県連の中で、現場から寄せられる様々な要望や問い合わせの声をまとめて県と繋ぐ仕事をしていましたが、情報の一元化が大切だと意識して取り組みました。

国からのバックアップが必要な事案も多く、今度は国に繋いでいくという仕事を、政府の現地対策本部副本部長として小森さんがずっと指揮してくれていました。

小森：宮本さんは松村防災担当大臣との信頼関係が構築されていて、適時適切なアドバイスをくださいました。その連携が

あったからこそ対応できたのだと思います。私が任命された現地対策本部副本部長というポストは、おそらくこれまで作られたことがなく、石川県庁の部長の経験が買われたのだと思います。ゼロからの組織の立ち上げは大変でした。プッシュ型の支援をしつつ、被災地の首長の皆さんとの毎日のやりとりの中で要求、要請されることに臨機応変にこたえていく中で、対応が進化していきました。

宮本：現段階は応急復旧が終わって、これから市町村の復興計画を立てて具体的な本格復旧に入ります。被災された方の心情にも寄り添いながら、引き続き連携協力して取り組み続けなければいけませんので、一緒に頑張っていきたいと思います。

小森：ところで宮本さんと私は同学年です。いろんな時代を同じ成長段階で経験しているの、感じ方が似ているところがあると思っています。

宮本：昨年秋の衆院選挙では応援に行った先々で、「小森卓郎という代議士をこの石川県一区で得たことはとても大きなことだ」ということを話してきました。財務省、石川県庁も知っているし、そして今、県民の皆さんと日常でも接することで石川県民の思いと、県・国でとらえることをすべて通して完結できる立場が「小森卓郎」という唯一の存在だと思っているからです。

小森：ありがとうございます。刺激を受けて、質の高いコミュニケーションをすることにより、お互い得るものがありますね。宮本さんは、今年はどんなことを展望されていますか。

宮本：能登半島地震、奥能登豪雨による被害、これを着実に復旧させていくことが大事です。その先の復興の道筋まで整え



ていかなければならない。そのうえで我々は、この人口減少フェーズの中で日本の富を生み出すベクトルを向けていくことで、子育て・教育の環境や、医療や介護、福祉の環境など、広く国民生活が豊かになっていくはず。産業基盤も含めた日本の基盤を強固にしていくことに尽力しなくてはいけないと考えています。そして、自分自身は夏に参議院選挙が控えています。しっかりと皆さんから信任いただき、国家国民と石川県の被災地を含めた現地現場のために頑張っていきたいと思っています。

小森：身体に気を付けて、お互い頑張りましょう。今日はありがとうございました。



本対談は令和6年12月に行われました。更に詳しくは、下のサイトでご覧いただけます。
<https://komoritakuo.jp/>



見せよう、
金沢の底力。

衆議院議員 小森たくお

たくお

KOMORI TAKUO Letter

通信

Vol.3
2025.2

再生、反転の年に

令和6年は、元日の能登半島地震、そして9月の豪雨と石川県史上最も激甚な災害に見舞われた年でした。発災以来、救命救助や物資支援、各種の復旧に関して多くの関係者に尽力をいただきましたが、1年を経過しても復興はまだ道半ばです。令和7年は復興の加速とそれが被災者の皆様に実感される年となるように力を入れます。

政治では10月に衆議院の解散、総選挙が行われました。自由民主党は今後の社会のあり方を争点にすることができず、大変厳しい戦いとなり、多くの議席を失いました。そうした中、皆様のお力で2度目の当選をすることができ、国会議員として仕事を続けていきます。ご支援に心より感謝を申し上げます。

総選挙の結果、自民公明両党は衆議院で過半数の議席を失う少数与党として国政運営を行うこととなりました。どこかの政党の協力と賛成がなければ1本の法案や予算案すら可決成立させることができないという、極めて険しい事態です。こうした新しい状況のもとで、「年収の壁」問題が注目されるなどの動きがありましたが、与野党の関係を含めて新たな国会の運営のあり方が模索されている途上です。野党にも応分の責任が生じており、こうした新しい状況に対応できるように国会改革を一層進めなければなりません。

目先の課題に振り回されがちな状況ではありますが、もっと大きな問題についても解決をはかっていく必要があります。働き手の減少や金利のある世界への回帰など、社会経済面での本質的で構造的な変化に対して有効な手を打っていかねばなりません。また、働く女性の増加といった家族のあり方の変容に対して社会保障制度や税制が遅れをとっていないか、表層的なことだけではなく先を見据えた責任ある対応をしていきます。

少数与党であることで困難な局面が続きますが、一方で責任が増していると実感しています。数多ある政治課題のそれぞれの解決のために野党の協力が必要であり、これまでよりも時間と手間がかかりますが、有権者の皆さんの期待に応えるためには答えを出すまでの時間がかかり過ぎてはいけなくて肝に銘じています。と同時に早くするために筋を外す答えを出すわけにもいきません。本筋を外さないことと同時に円滑に答えを出していくことの両立が課題です。

令和7年は、守勢一方ではなく反転攻勢をかけ、そして石川の再生や金沢の振興を進める年にしていこう決意です。7月には参議院選挙が見込まれています。皆様の力強いご支援をよろしくお願いいたします。



自民党参議院議員
宮本 周司 みやもと しゅうじ

能美市出身。㈱宮本酒造店代表取締役、全国商工会青年部連合会長を経て、2013年から参議院議員(当選3回)。経済産業大臣政務官、財務大臣政務官、参議院の財政金融委員長を歴任し、現在は自民党財務金融部会長。経済産業分野におけるスペシャリスト。

衆議院議員 小森たくお 見せよう、金沢の底力。



<https://komoritakuo.jp/>

小森たくお facebook 検索

office@komoritakuo.jp



小森たくおプロフィール

昭和45年5月21日生まれ。東大法卒。プリンストン大学院修了。財務省、金融庁、防衛省などに勤務。石川県総務部長、企画振興部長時に、北陸新幹線金沢開業準備、敦賀開業認可、IRいしかわ鉄道設立に携わる。令和3年初当選。元総務大臣政務官。

活動記録

ACTIVITY JOURNALS

能登半島地震、自民党総裁選挙、
衆議院選挙など、激動の令和6年でした。

元日の能登半島地震から始まった令和6年。総務大臣政務官として、また政府の現地対策副本部長として初期段階の震災対応の要の役割を果たし、物資の支援やインフラの復旧等を指揮しました。被災地にも幾度となく出向きました。



1月27日 栗崎地区視察
液状化の被害を受けた栗崎地区を視察。雪混じりの中で被災の大きな町並みや学校を案内していただきました。



2月18日 金沢スタジアム完成記念式典
金沢市民待望のサッカー専用スタジアムが完成。ツエーゲン金沢の飛躍を期待しています。



3月16日 北陸新幹線敦賀開業
13年前に延伸の認可を得る際から関わった敦賀開業。多くの皆様の尽力に心より感謝しています。



7月3日 街頭演説
1年を通じて市内各所の街頭に立ちました。この日は香林坊で今枝文部科学副大臣と。



7月6日 大学生向けの講演
未来を担う若い世代に政治に関心を持ってもらいたい。この日は星稜大学の学生さんに向けて話をしました。



7月7日 犀川大橋百寿祭(ももじゅさい)
100周年を迎えた犀川大橋での式典。橋の上や周辺に大勢の市民の皆さんが集まりました。

たくおに託そう!

12日間の選挙戦を振り返る

10月に行われた第50回衆議院議員総選挙。自民党に対して強い逆風が吹き荒れる中、64,997票の支持をいただき、議員活動2期目をむかえることができました。感謝の気持ちとともに、国の将来を担う責任を背負って、日々の活動に邁進する覚悟です。



大勢の支援団体、企業様、ボランティアスタッフの心温まるご支援にお礼申し上げます。

金沢に応援に来られた国会議員の方々



- 10月15日 森山裕自民党幹事長
- 10月17日 小林鷹之衆議院議員
- 10月18日 滝波宏文参議院議員
- 10月19日 友納りお参議院議員
- 10月21日 松川い参議院議員
- 10月21日 松村よしふみ参議院議員
- 10月23日 長峯誠参議院議員
- 10月24日 有村治子参議院議員

国政報告

2024.01 - 2024.12

令和6年の東京での主な活動をご報告します。



1月25日 総務大臣政務官として、村山金沢市長から特別交付税などの要望を受けました。



3月9日 石川県のアンテナショップ「八重洲いしかわテラス」が東京駅前の八重洲にオープン。テープカットをしました。



3月21日 衆議院災害対策特別委員会において、能登半島地震後の瓦れきの撤去やアスベスト処理などに関して質問しました。



4月19日 日本とEUのAI法制に関して、自民党AIの進化と実装に関するPT(プロジェクトチーム)事務局長として登壇しました。



6月3日 岸田総理大臣(当時)に中小企業政策調査会、競争政策調査会の合同の提言を申し入れました。



7月13日 台湾有事の際の日本政府の対応シミュレーションに、財務大臣役などとして参加しました。



小森たくおの

国会での1日

たくお通信読者の方から、「小森代議士が東京でどのような活動をしているのか教えてもらいたい」との声をいただきました。そこで令和6年12月12日の1日を追いかけてみました。

7:00

7:30 宿舎出発

8:00

8:00~9:00 自民党本部

中小企業政策調査会と競争政策調査会の合同会議。事務局長として司会進行。
①下請法改正に向けた検討状況
②価格交渉促進月間(令和6年9月)の調査結果について政府から報告を受け、議員間で議論。

9:00

9:30~9:45 議員会館の事務所

金融庁からレクチャーを受ける。

11:00

11:00~12:00 自民党本部

金融調査会役員会。事務局長として司会進行。新しい体制となり、これからの1年間で取り上げていく政策課題などについて、幹部で意見交換。

12:00

12:00

12:00~ 議員会館

当選同期議員と弁当を食べながら意見交換。楽しい会話で元気をチャージ!

13:00

14:00

15:00

13:30~15:40 衆議院総務委員会

補正予算関連法案である地方交付税法等の一部改正法案について、与党を代表して政府に対する質疑を行う。テクニカルな法案だからこそ本質を外さない問題提起を心がける。与野党の質疑一巡後、委員会として法案を可決。

16:00

17:00

16:15~16:25 衆議院院内

本会議前の自民党代議士会。

18:00

16:30~17:45 衆議院本会議場

与野党の各会派の討論を行った後、補正予算案3件と関連の10法案を可決。

19:00

19:00 議員会館の事務所から帰宅

※なお、総務委員会と時間が重なるもの(自民党税制調査会や様々な部会、更に議員連盟の会合)をはじめ、参加できない多くの会合もありました。これらについても資料を取り寄せるなどして頭に入れていきます。